

別紙 JKA補助事業

2024年度

事前計画/自己評価書（1/5）

1. 要望事業者

法人格	社会福祉法人		設立	2002年7月15日		所属部署 (役職名)	事務局(事務長)	
			法人格取得	2002年7月15日				
名称	フリガナ	シンエイカイ				氏名	フリガナ	コバヤシノブユキ
		榛永会						小林伸幸
住所	〒 370-3504		事務所担当者	電話	代表	0279556622		
	群馬県群馬県北群馬郡榛東村広馬場1797-1				担当者	0279556622		
代表者 氏名 (役職名)	フリガナ	タカハシタダシ		FAX	代表	0279556301		
		高橋正(理事長)			担当者			
団体の使 命・目的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。		ホームページ	E-mail	代表	shintouen@bz04.plala.or.jp		
					担当者	shintouen@bz04.plala.or.jp		
これまでの 主な活 動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一種社会福祉事業として、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームの経営</li> <li>・第二種社会福祉事業として、老人短期入所事業、老人デイサービス事業の経営</li> <li>・居宅介護支援の事業</li> </ul>		過去のJKA補助実績					
			無	いつから				
事業の実施 責任者の主 な経歴・業 績(研究補助 は別記入)	過去の5年間のJKA補助実績							
	○事業の実施責任者の主な経歴・業績 ・経歴 平成9年4月 藤岡市役所入職 令和3年4月 社会福祉法人榛永会入職(施設長) ・業績 藤岡市役所において高齢者福祉・介護保険行政に17年間携わる。 当法人に入職後経営効率化を図る。							
特記事項	記入不要							

JKA使用欄	
--------	--

別紙 JKA補助事業

2024年度

事前計画/自己評価書（2/5）

項番

1

/ 総事業項目数

1

2. 要望事業

補助事業名	福祉車両・就労支援車両の整備				事業形態	A_福祉車両の整備 2. (福祉) 高齢者施設で使用する車両の整備				
事業項目名	・移送車1（燃料車）				公益目的事業情報	事業区分のチェックポイントに沿っていない場合の理由 (沿っている場合は空欄)				
種別	(1) 新規要望	複数年 度要望	経過年数 総計画年数	年 年	種類	23	事業 区分	(18)	当該事業に関し、他の団体に対する補助申請又は 補助申請予定の有無	
種別	(1) 新規要望	継続 要望	計画開始年度 計画年数	年 年	無	団体名称				
事業費総額					事業コード	PD5603				
補助金 交付要望額	1,400,000 円				補助対象 経費総額	1,870,000 円			補助 率	3/4
委託事業 の有無	無	円	委託 比率	%	委託調査 の有無	無	円	委託 比率	%	
委託想定先	1		2		3					
アピールポイント	法人の基本理念として「もうひとつの家族」を掲げています。利用者様にとっても、働く職員にとっても、「もうひとつの家族」と思っただけことを目指しています。また、榛東村唯一の高齢者総合施設として、自治体と協力しながら地域貢献に取り組んでいます。車両を導入するデイサービス事業所についても、より多くの地域住民が利用できるよう、広範囲にわたり送迎活動を行い、サービス内容にも工夫を凝らす努力を続けています。									

3. 補助事業実施の必要性(意義)

作成日 2023年11月27日

作成者 小林 伸幸

○補助事業実施の必要性を、最終的に解決等を目指す社会的課題及び受益者(ニーズ)との関係で整理してください。

補助事業の結果(アウトプット)・成果(アウトカム)により、(2)の補助事業の直接的な目的を達成し、最終的には、社会的課題が改善、解消、解決等された社会等の状況「目指す姿」の実現[(1)の補助事業が最終的に目指すこと]を図ります。

(1) 補助事業が最終的に目指すこと

社会的課題の現状と、この補助事業が最終的に目指す姿(課題が改善、解消、解決等された社会等の状況)を記入してください。

補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の改善、解消、解決等)	
社会的 課題の 現状	記入不要
目指す 姿	記入不要

(2) 補助事業の直接的な目的

補助事業の結果(アウトプット)・成果(アウトカム)の直接的な効果により、達成を目指す、補助事業の直接的な目的を記入してください。

補助事業の直接的な目的	
○最終的に目指す姿 ・地域の幅広いエリア、幅広い心身の状況の利用者様に、安心・安全にデイサービスを利用していただくことを目指す。 ・地球環境に配慮して事業を実施する。	
○事業の直接的な目的 ・助手席昇降シートを搭載した車両を導入することにより、幅広い身体レベルの利用者様の利用が可能になる。	

4. 補助事業の事前計画

補助事業

(1) 受益者 (ニーズ)		<p>○受益者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的な受益者・・社会福祉法人榛永会、デイサービスセンターやまゆりの利用者および職員</li> <li>・間接的な受益者・・デイサービスセンターやまゆり利用者様の家族、送迎道路を通行する車両や歩行者、地球環境</li> </ul> <p>○ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人設立以来約20年間使用し、老朽化した送迎車を更新したいと考えているが、法人の収益低下により進まない現状となっている。また、同車両の修繕費が高んでいる。</li> <li>・利用者様の要介護度の重度化により、乗降しやすい送迎車両の必要性が増している。</li> </ul>
(2) 事業内容		<p>○福祉車両</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 移送車1「助手席リフトアップ」</li> <li>(2) 車種 燃料車</li> <li>(3) メーカー名 スズキ</li> <li>(4) 車名 ワゴンR</li> <li>(5) 排気量 657cc</li> <li>(6) 施設名 デイサービスセンターやまゆり</li> </ul> <p>使用目的 利用車の送迎</p>
事業の新規性		記入不要
事業の発展性		<p>○事業完了後に予想される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助手席昇降シートの使用による利用者様の乗降の安全確保。</li> <li>・助手席昇降シート送迎車の導入により中重度要介護者の利用が可能になる。</li> <li>・最新の車両を導入することによる利用者様およびその家族の安心度向上。</li> <li>・ドライバビリティ向上による事故率低減。</li> <li>・デイサービス事業所、社会福祉法人榛永会の信頼性向上。</li> <li>・上記の理由により利用者様が増加し、法人の収益も向上する。</li> <li>・車両修繕費の低減。</li> <li>・職員の労働環境の向上。</li> </ul>
実施計画	予算等	<p>【事業の完了時期】 [ 2025年3月31日 ]</p> <p>【スケジュール】 別添1：補助事業の概要のとおり 【予算】 事業経費比較表のとおり</p>
	実施場所	<p>○車両を使用する施設および所在地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設名 社会福祉法人榛永会 デイサービスセンターやまゆり</li> <li>(2) 実施住所 群馬県北群馬郡榛東村広馬場1797-1</li> </ul>
実施体制		<p>○車両整備を実施する体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任者 デイサービスセンターやまゆり管理者 田辺 亮</li> <li>・車両選定者 管理者 田辺 亮、事務局長 小林 伸幸</li> <li>・申請事務担当者 小林 伸幸</li> <li>・補助事業の評価・公表担当者 田辺 亮、小林 伸幸</li> <li>・車両の整備担当者 デイサービスセンターやまゆり相談員 富澤美佳、事務主任 阿久沢 武芳</li> </ul>

補助事業の結果・成果により、補助事業の目的達成を図ります。

事業終了後に自己評価（4/5/5/5）を実施してください。

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書（3/5 ②）

4. 補助事業の事前計画

補助事業

		[指標]	[目標値]	[具体的内容]
(3) 達成目標	事業の実施結果	2024年10月	2024年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年4月に交付決定通知を受け取った場合、速やかに車両を発注する。自動車会社に聴取した現在の納車期間から、2024年5月に発注した場合、同年9月までの納車が可能と推定される。よって、2024年10月の稼働を見込む。</li> <li>・納車後は速やかに稼働させ、老朽車両1台を廃車とする。</li> </ul>
	事業の成果・波及	1日平均利用者数、1日平均稼働時間、年間稼働日数	1日述べ7人、1日平均稼働時間3時間、年間稼働日数310日（デイサービスの令和4年度稼働実績より）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス利用者のうち自宅からの送迎を希望している方のうち朝の迎え3名、夕の送り3名、午前のみ利用者の送り1名に乗り合わせていただく。</li> <li>・1回の送迎で往復1時間を想定する。</li> <li>・デイサービス営業日の全日で稼働する。</li> </ul>
(4) 情報発信	事業の実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 受益者・関係者への周知・玄関ホール、受付のポスター掲示、職員への周知、やまゆり便り掲載</li> <li>2. 広く世間一般への周知・法人ホームページ掲載、SNS発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ポスター掲示（建物内4カ所）、職員への周知（職員76人）、やまゆり便り月1回発行（利用者55人×12回）</li> <li>2. ホームページおよびSNS年6回更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 受益者・関係者への周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施結果に関するポスターを掲示し、来苑する利用者、家族および職員に事業を周知する。</li> <li>・やまゆり便りに事業実施を掲載し、利用者および家族に周知する。</li> <li>・管理職員連絡会議で資料配付と共に説明し、職員全員に周知する。</li> </ul> </li> <li>2. 広く世間一般への周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやInstagramに事業実施について掲載する。</li> </ul> </li> </ul> <p>○媒体を選定した理由  ・ポスター、便り、会議、ホームページ、Instagramは現在当法人が使用し得るj最も効果的な発信手段である。</p>
	競輪・オートレース補助金による事業であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 受益者・関係者への周知・玄関ホール、受付のポスター掲示、職員への周知、やまゆり便り掲載</li> <li>2. 広く世間一般への周知・法人ホームページ掲載、SNS発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ポスター掲示（建物内4カ所）、職員への周知（職員76人）、やまゆり便り月1回発行（利用者55人×12回）</li> <li>2. ホームページおよびSNS年6回更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 受益者・関係者への周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施結果に関するポスターを掲示し、来苑する利用者、家族および職員に事業を周知する。</li> <li>・やまゆり便りに事業実施を掲載し、利用者および家族に周知する。</li> <li>・管理職員連絡会議で資料配付と共に説明し、職員全員に周知する。</li> </ul> </li> <li>2. 広く世間一般への周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやInstagramに事業実施について掲載する。</li> </ul> </li> </ul> <p>○媒体を選定した理由  ・ポスター、便り、会議、ホームページ、Instagramは現在当法人が使用し得るj最も効果的な発信手段である。</p>
(5) 自己評価の体制		<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価を実施する体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者田辺、事務局長小林、相談員富澤を含む、法人の他事業所の管理職員も含めた11名の「連絡会議」を評価実施メンバーとする。責任者を管理者田辺とする。</li> </ul> </li> <li>○評価の具体的な方法・手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回開催する連絡会議において評価し、最低年2回開催される理事会で報告し、承認を得る。</li> </ul> </li> <li>○自己評価結果の公表方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人ホームページで公表する。</li> </ul> </li> </ul>		

補助事業の結果・成果により、補助事業の目的達成を図ります。

事業終了後に自己評価（4/5/5/5）を実施してください。